

経営近況報告会

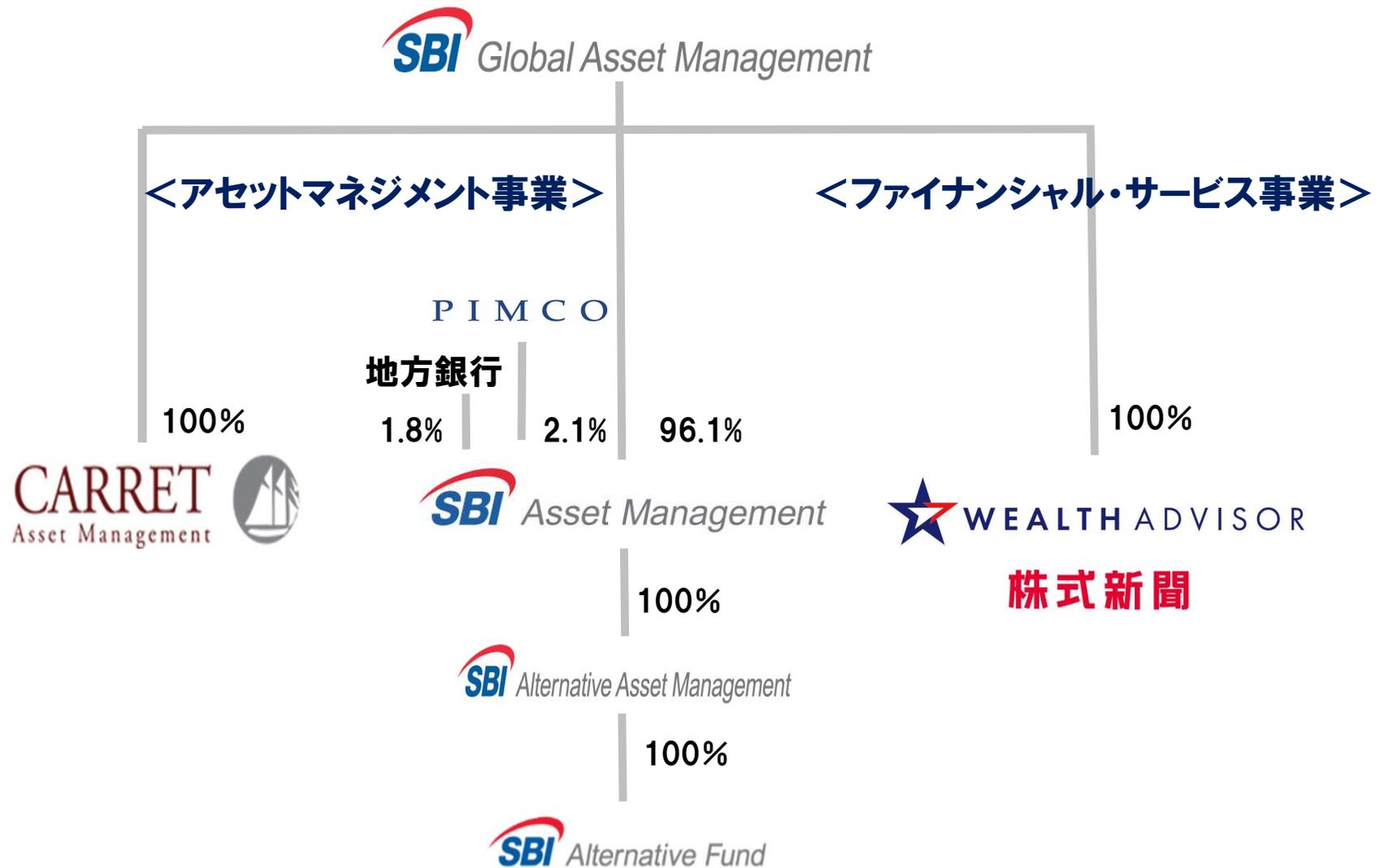
2023年6月22日

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社

代表取締役社長 朝倉 智也

前期決算の概況

再編後の当社グループの体制



2023年3月期の連結数値

売上高は11期連続の増収、4期連続で過去最高を更新
 経常利益は14期連続の増益、12期連続で過去最高益を更新
 当期利益は14期連続の増益、10期連続で過去最高益を更新

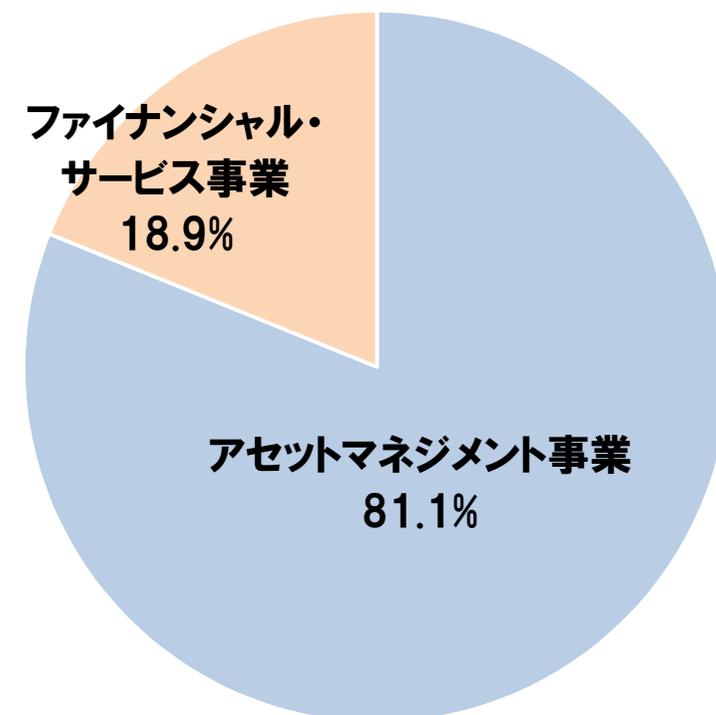
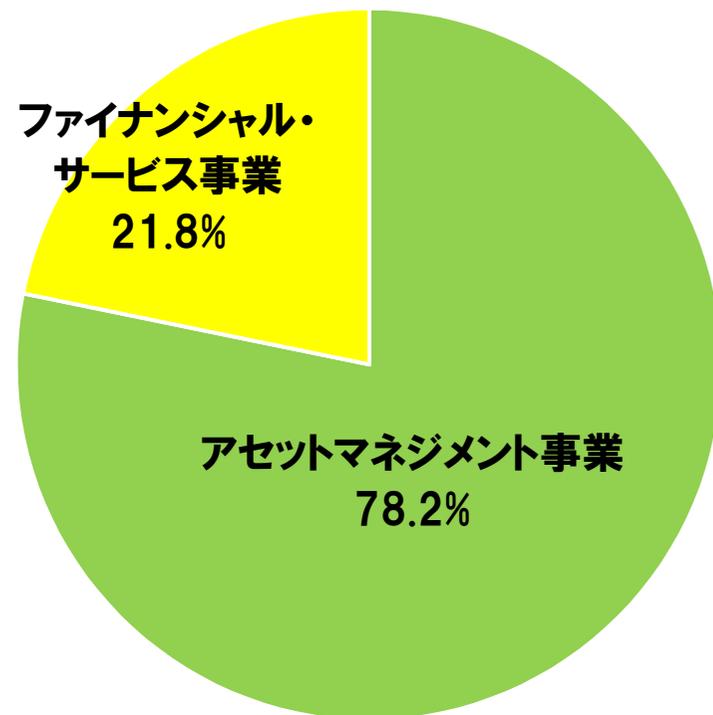
(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	対前年同期 増減率
売上高	8,123	過去最高 8,747	7.7%
営業利益	2,129	1,831	△14.0%
経常利益	2,403	過去最高 2,458	2.3%
当期利益	1,454	過去最高 5,443	3.74倍

※ 当期利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を意味する。

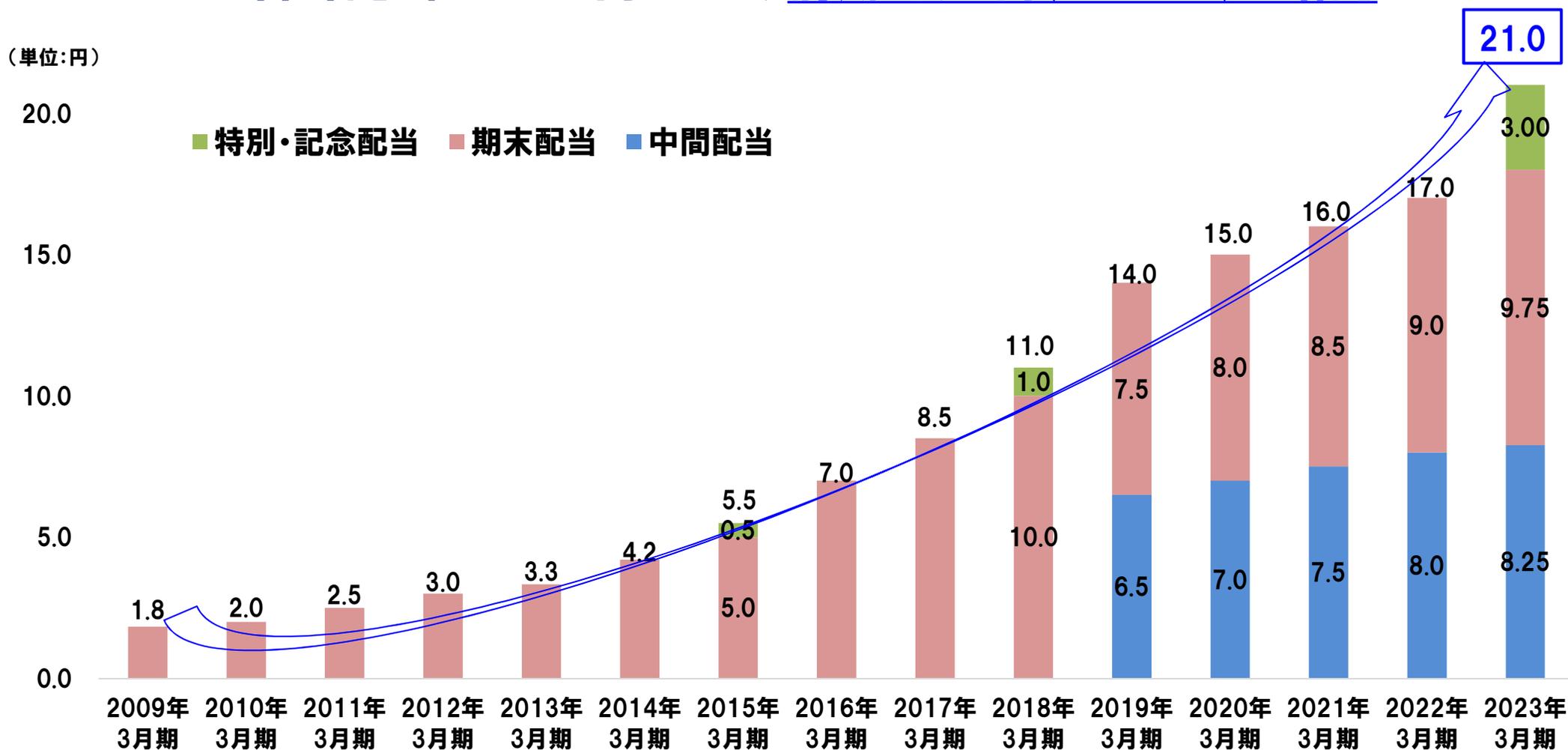
連結の売上高・利益に占める 「アセットマネジメント事業」の構成比は約8割

<連結売上高のセグメント別構成比> <連結営業利益のセグメント別構成比>



株主配当は14期連続の増配

期末配当金は、1株当たり普通配当金9円75銭に、特別・記念配当金3円00銭を加え、合計12円75銭。中間配当金(8円25銭)と合わせた年間の合計配当金は21円となり、前期比、4円(23.5%)の増配



※ 2015年3月期の記念配当は、上場15周年記念配当

※ 2018年3月期の記念配当は、設立20周年記念配当

※ 2023年3月期の特別・記念配当は、ブランド返還による特別利益計上と設立25周年による記念配当

連続増益・連続増配を14期以上続けている企業は 全上場企業3,975社(2023年6月9日時点)の中で、 当社を含めてわずか3社

当社は過去10年の利益成長率およびROE（株主資本に対する利益）成長率が高い

銘柄名	コード	連続増益・増配の回数	当期利益の成長率 (10年年率)	ROE成長率 (10年年率)
SBIグローバルアセットマネジメント	4765	14期	26.8%	19.1%
パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	7532	14期	11.4%	0.3%
小林製薬	4967	24期	5.1%	-1.0%

- ※ 連続期は実績ベース。パン・パシフィックは23年6月期の予想値ベース。増益は当期利益ベース。
- ※ 当期利益の成長率(10年年率)は、前期実績業績を含んだ10期前から算出。パン・パシフィックは23年6月期の予想値を含む。
- ※ ROE成長率(10年間の年率)は、10期前から前期実績までの年率成長率。パン・パシフィックは23年6月期の予想値。

XRP(暗号資産)追加進呈の株主優待

5単元以上保有の株主に、XRP追加進呈の株主優待を設定

単元数(株数)	(1) 株式新聞ウェブ版	(2) 暗号資産(XRP)	通常価格 相当額合計
1単元(100株)以上 5単元(500株)未満	 <p>2023年6月1日から 2023年12月31日まで 6ヵ月無料購読クーポン (26,400円相当)</p>	<p>2,500円相当の 暗号資産 34 XRPを進呈</p> 	28,900円
5単元(500株)以上	 <p>2023年6月1日から 2024年6月30日まで 12ヵ月無料購読クーポン (52,800円相当)</p>	<p>10,000円相当の 暗号資産 137 XRPを進呈</p> 	62,800円

※ 通常価格相当額は、『株式新聞ウェブ版』の通常販売価格(税込)と暗号資産(仮想通貨)XRPの2,500円相当額の合計額。
贈呈する2,500円相当の暗号資産(仮想通貨)XRPの数量は、**2023年3月31日17:00現在の価格(1XRP=72.868円)**をもって決定。(1XRP未満切捨て)
中間優待を廃止するので、上記は年間の贈呈額。

株主還元積極的に取り組み、株主数は大幅に増加

積極的なIR活動と株主還元の更なる拡充により株主価値向上に努める

(単位:人)

70,000

<株主 & 投資家向けIRの一層の強化>

1. 株主 & 投資家とのオンライン及び対面での接点を拡大
2. 好配当の実施
3. 魅力的な株主優待

60,000

50,000

40,000

30,000

20,000

10,000

0

2014年
3月末

2015年
3月末

2016年
3月末

2017年
3月末

2018年
3月末

2019年
3月末

2020年
3月末

2021年
3月末

2022年
3月末

2023年
3月末

5,114

6,628

6,997

7,412

8,601

15,215

16,808

29,723

41,564

60,853

46.4%増

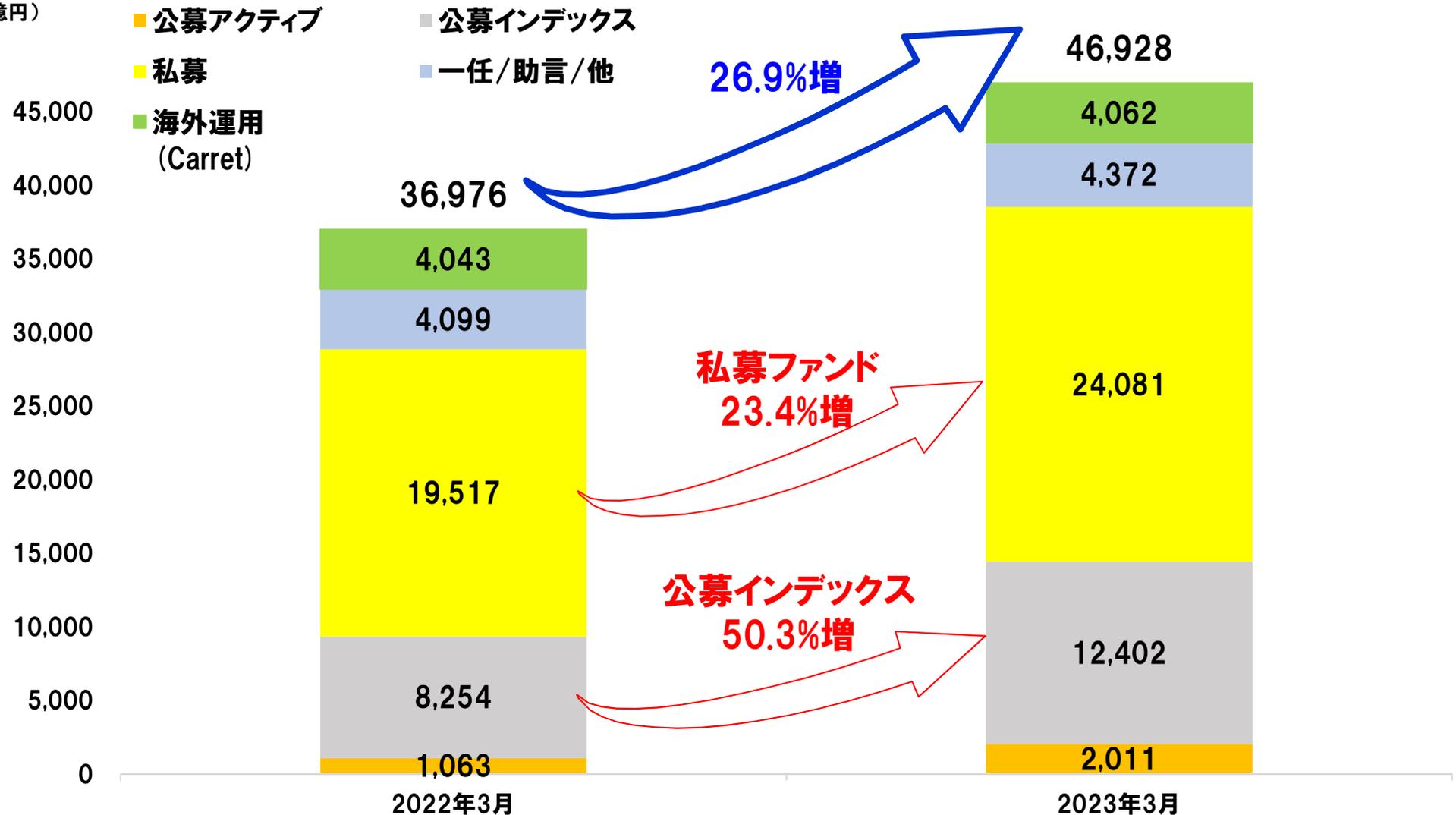
3.62倍

公募・私募ともに運用残高を伸ばす 「アセットマネジメント事業」

当社グループの運用残高の推移

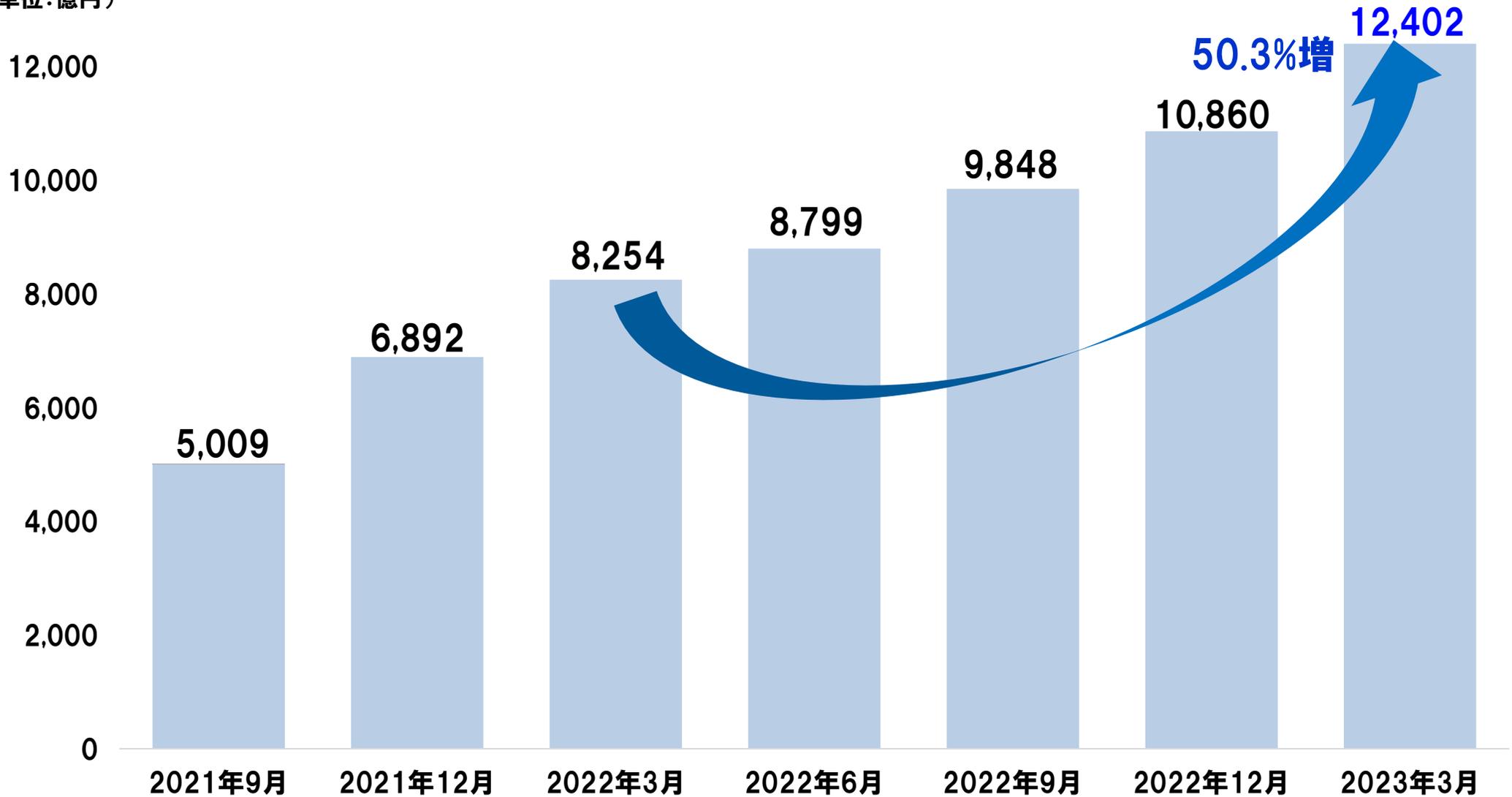
2023年3月末の運用残高は約4.7兆円、前年同月比26.9%の増加

(単位:億円)



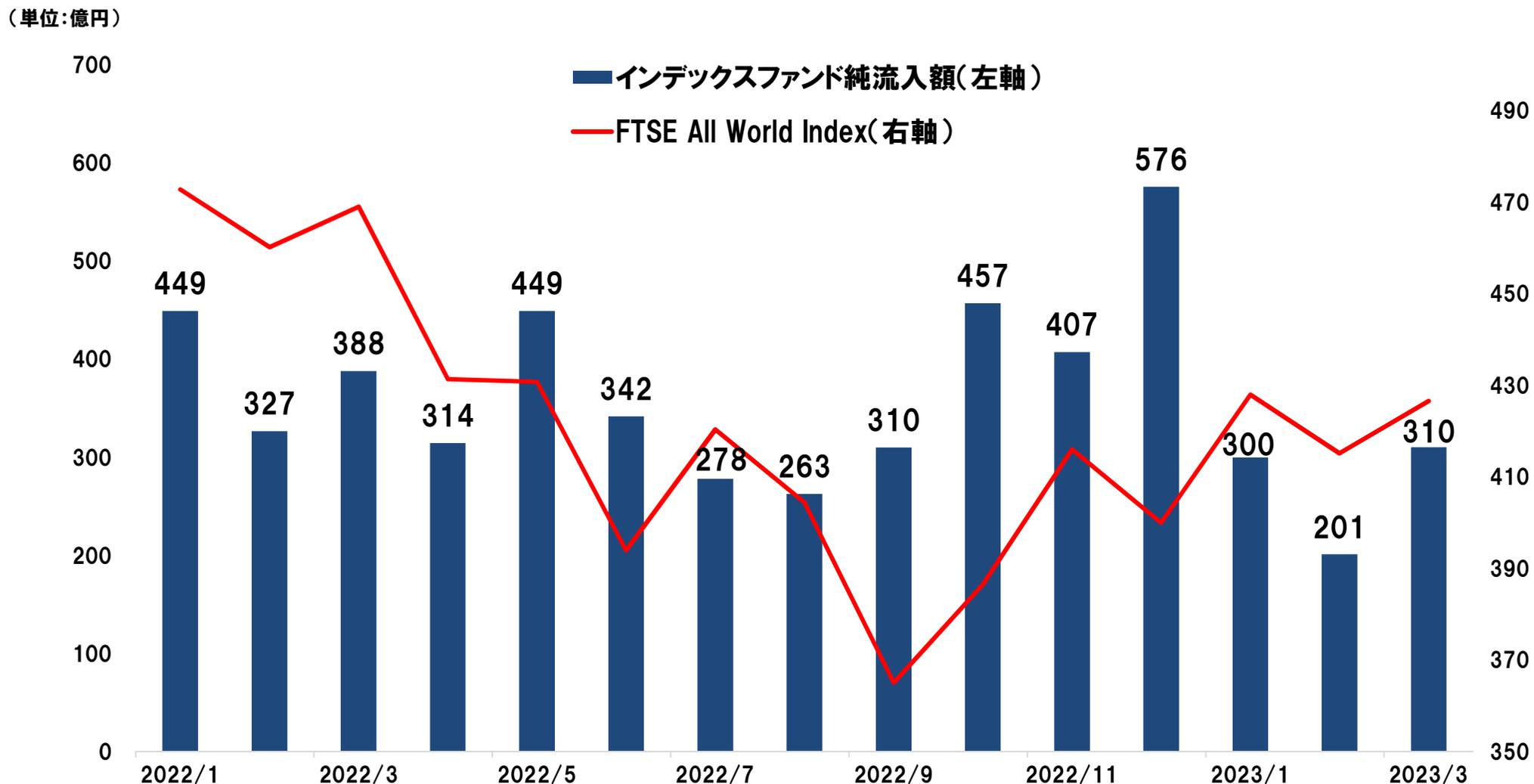
SBIアセットのインデックスファンドの運用残高の推移

(単位:億円)



SBIアセットのインデックスファンドの月次純資金流入額

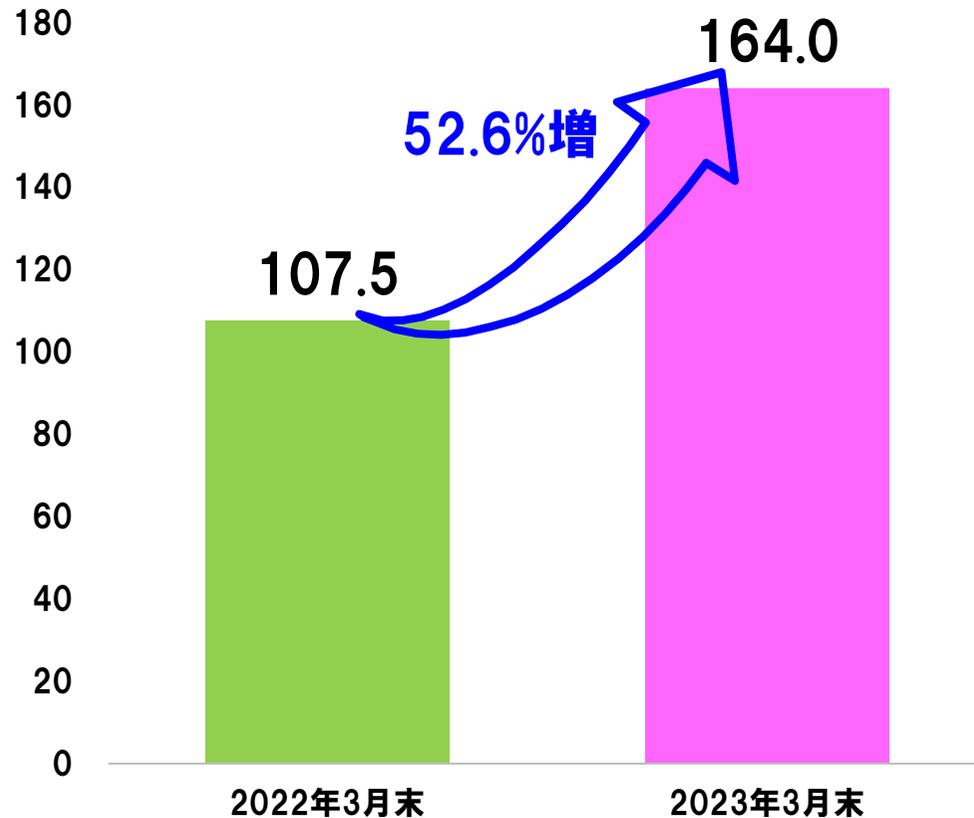
世界的に厳しいマーケット環境においても、安定して資金が流入



SBIアセットのインデックスファンドの受益者数と積立口座数

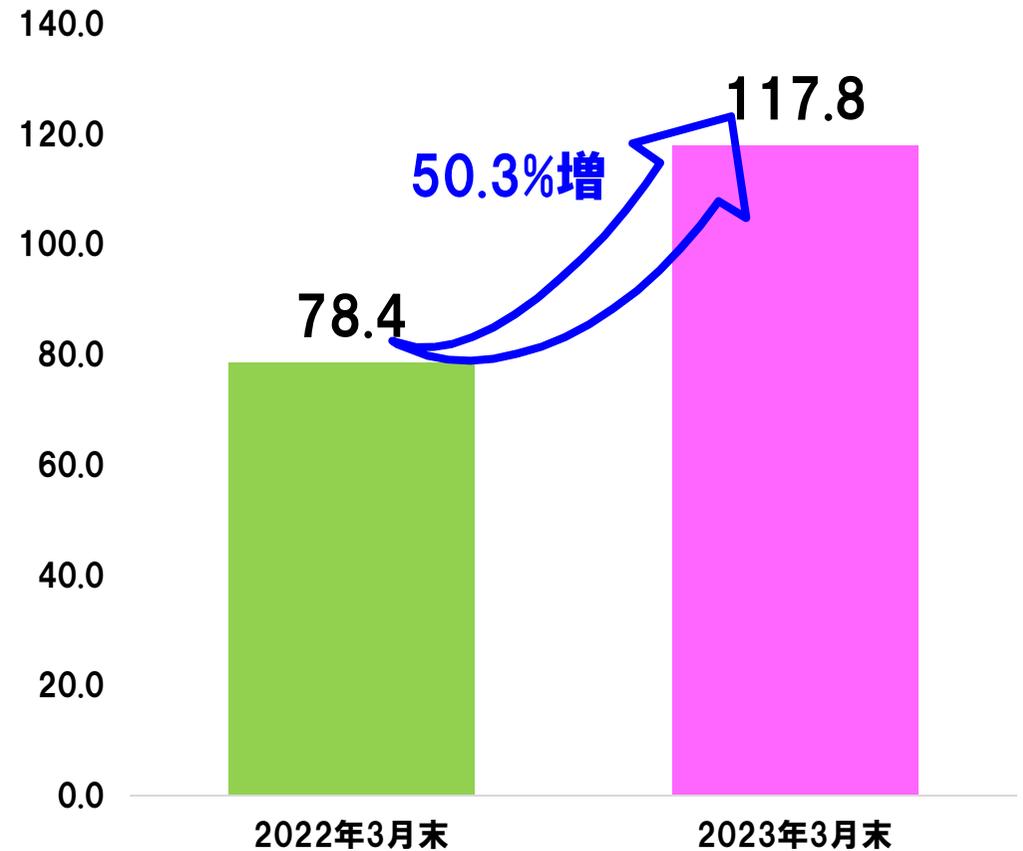
<受益者数>

(単位:万人)



<積立口座登録者数>

(単位:万口座)



※ 受益者数と積立口座登録者数はSBI証券のみの数字

公募インデックスファンドの純資金流入額ランキング

(2022年4月～2023年3月)

順位	運用会社	純資金流入累計額 (億円)	ファンド数 (本)
1	三菱UFJ国際	17,993	163
2	SBIアセットマネジメント	4,295	17
3	野村	3,899	129
4	楽天	3,837	10
5	大和	3,279	131
6	アセマネOne	2,336	89
7	三井住友DS	2,326	68
8	ニッセイ	1,294	49
9	三井住友TAM	1,162	89
10	日興	1,094	33
30社合計		43,390	932

※ 国内公募追加型株式投信(ETF等除く)のうち、投信協会基準でインデックスに属するファンド

※ ファンド数は2023年3月末時点

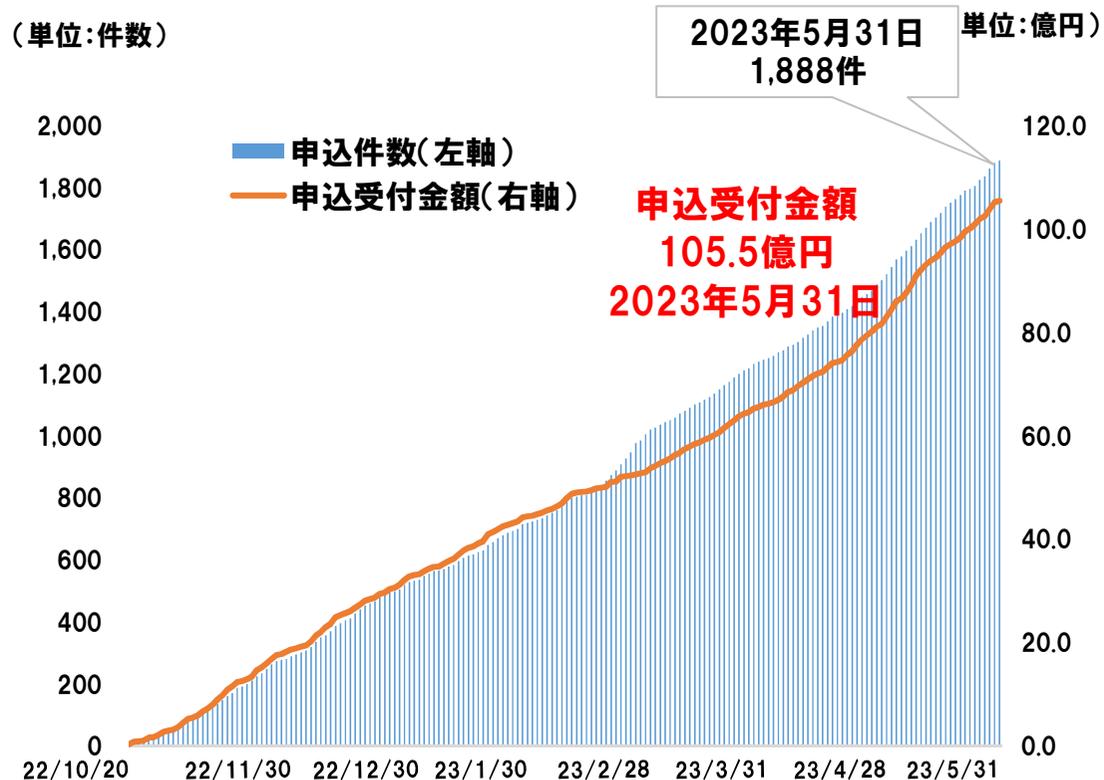
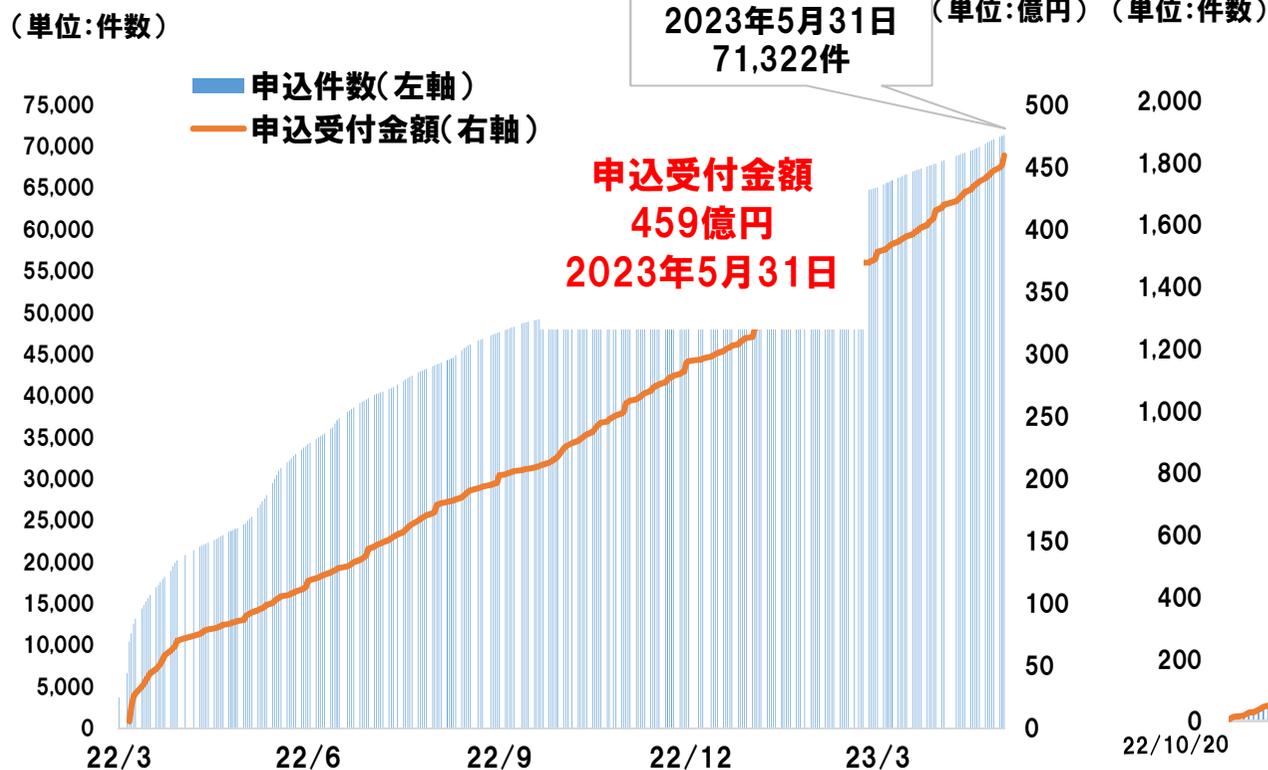
SBIアセット運用ファンドの 「SBIラップ」と「SBIラップ X (クロス)」は順調に拡大

2023年5月末の申込受付金額:564億円

＜SBIラップ＞
(2022/3/31～2023/5/31)



＜SBIラップX(クロス)＞
(2022/10/20～2023/5/31)

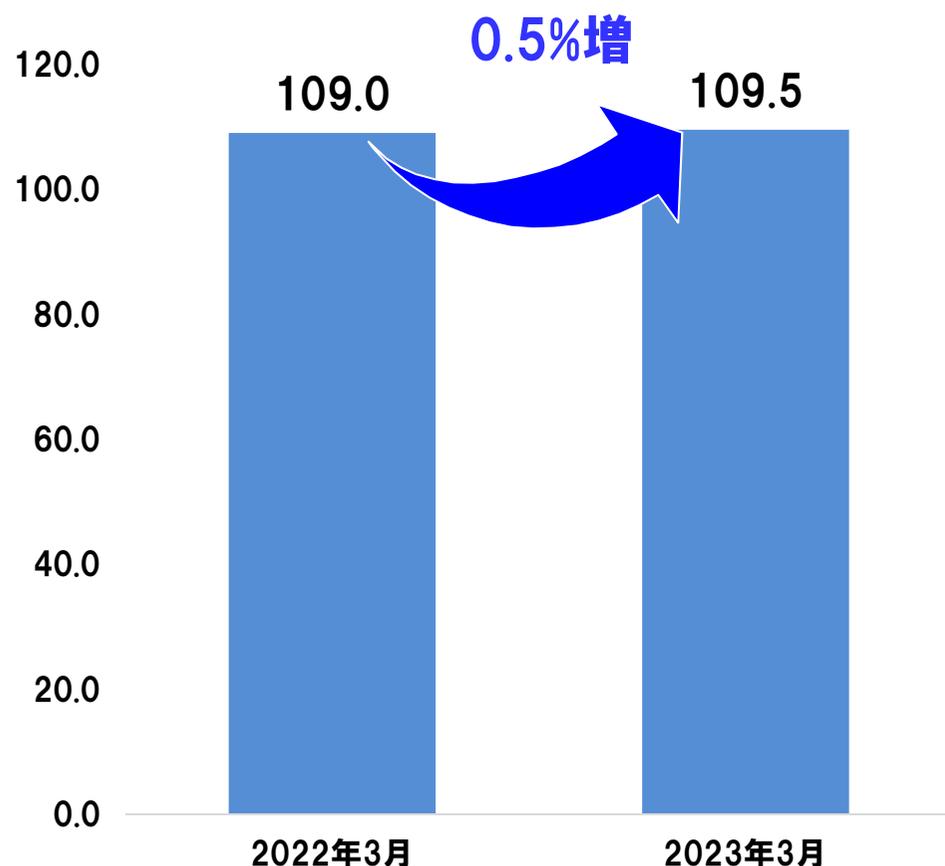


投信業界全体とSBIアセットの私募ファンドの伸び

2023年3月末のSBIアセットマネジメント受託の私募ファンドは約2.4兆円、
前年同月比23.4%の増加

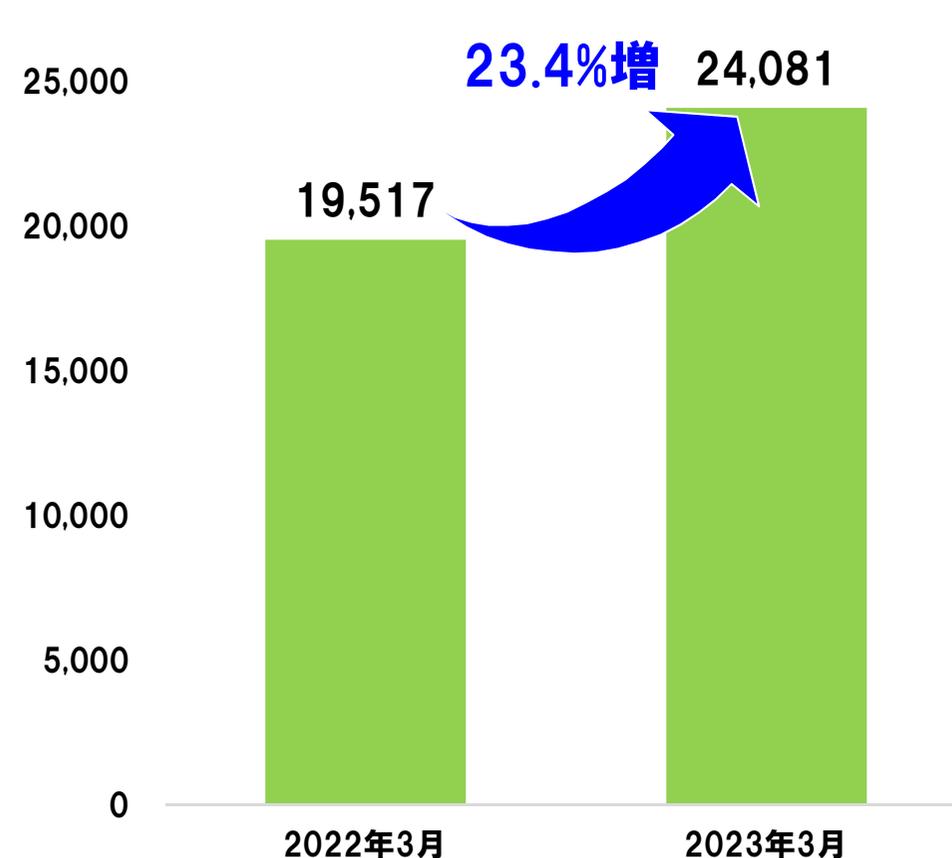
<投信業界全体の私募ファンド残高>

(単位:兆円)



<SBIアセットの私募ファンドの運用残高>

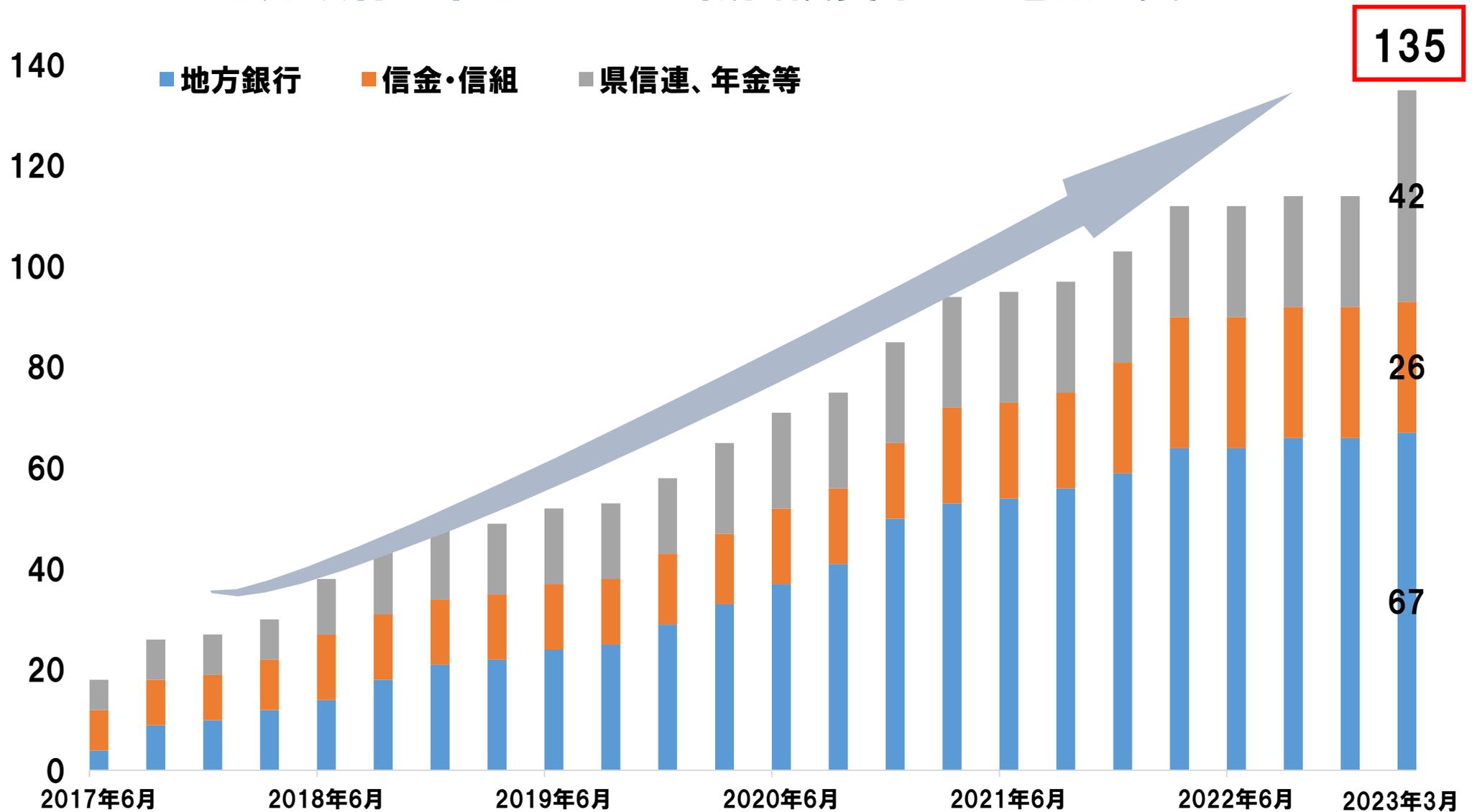
(単位:億円)



※ SBIアセットの私募投信の運用残高は機関投資家向けの一任運用残高も含む。

SBIアセットの運用受託社数の推移

地方銀行を中心に135の機関投資家から運用を受託



ブランド返還後も当社商品・サービスのニーズが高まる 「ファイナンシャル・サービス事業」

「ウェルスアドバイザー」は データ&ツール提供を中心としたプラットフォームビジネスへ



環境変化	金融機関 & 投資家の変化	当社のソリューション
フィデューシャリー・ デューティー (顧客本位の業務運営)の順守	プロダクト・アウト からゴールベース・ アプローチへ	「Wealth Advisor」 「ライフプラン・ シミュレーション」
投資家のネットによる情報収集	投資家向けネットコンテンツ の拡充	オンライン コンテンツ
豊富な投資教育コンテンツ	投資家の リテラシーの向上	資産運用関連 アプリ 「My投資信託」 「My仮想通貨」等
NISA/iDeCo等の 制度推進	投資家の運用額の拡大	資産運用 セミナー

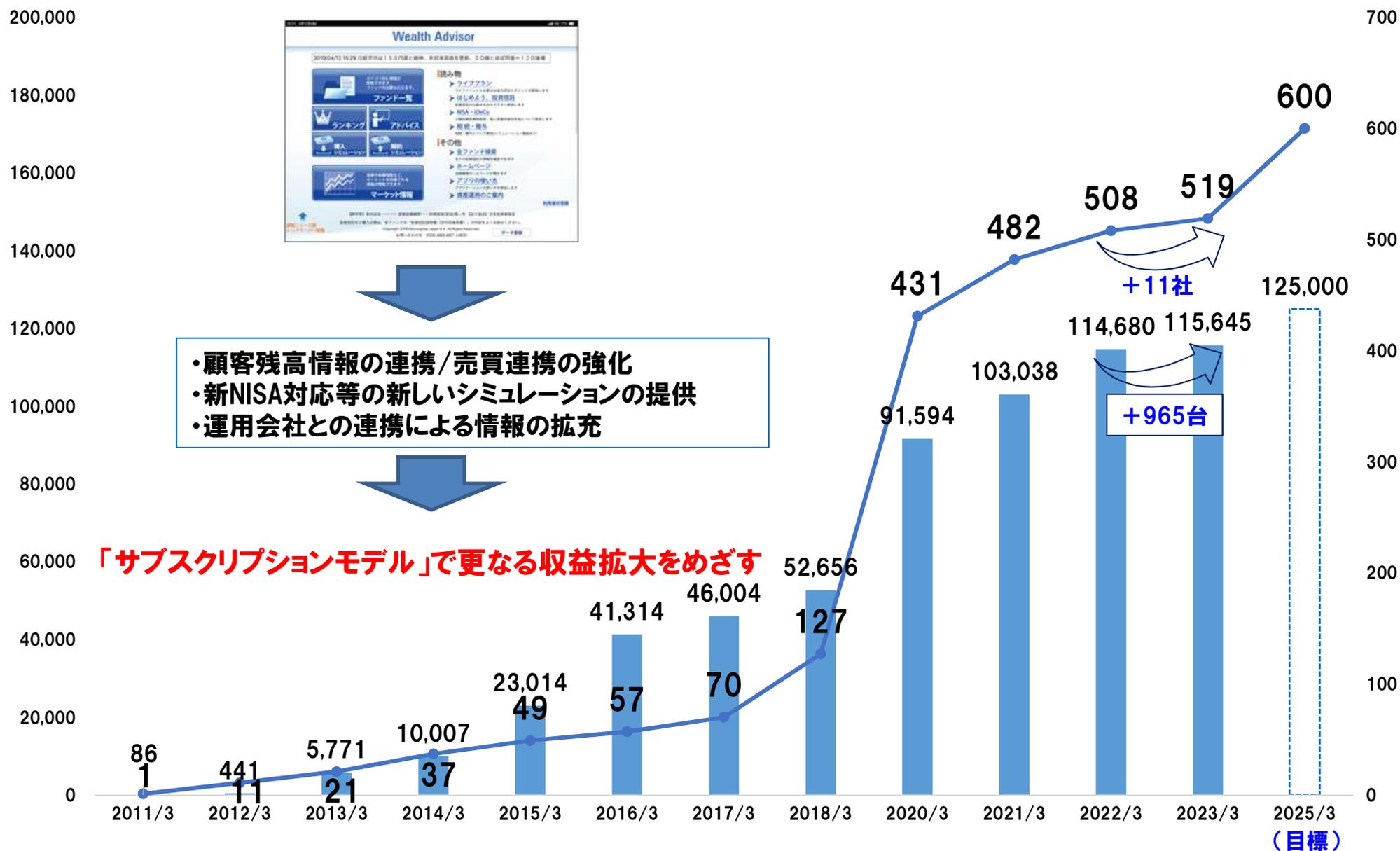


「投資家の最適な資産形成」に貢献

「Wealth Advisor」は現状の標準データの提供から 高付加価値データ & ツールの提供により収益を拡大する

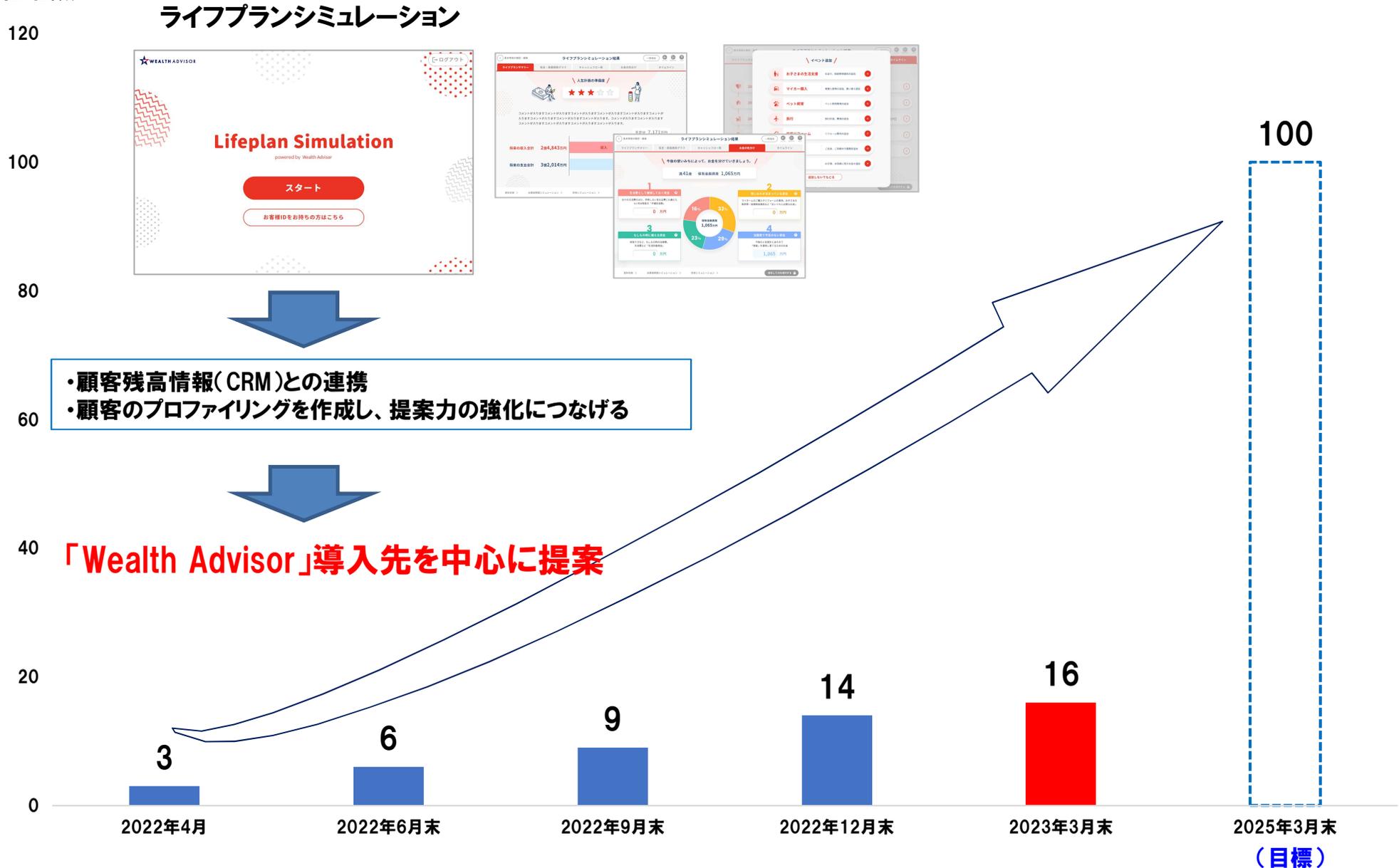
(単位:提供台数)

(単位:提供社数)



販売金融機関の「ゴールベースアプローチ」を支援する、 「ライフプランシミュレーション」の提供

(単位:社数)



販売金融機関のオンラインコンテンツ強化の支援

金融機関のウェブサイト・スマートフォン向けに当社のオンラインコンテンツを提供

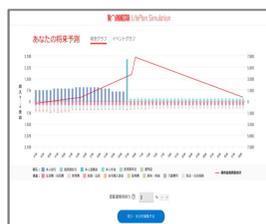
(単位:社数)

250

ライフプランシミュレーション

ロボ・アドバイザー

相続シミュレーション



200

150

100

50

0

2020年3月末

2021年3月末

2022年3月末

2022年6月末

2023年3月末

2025年3月末

59

68

102

106

113

200

(目標)

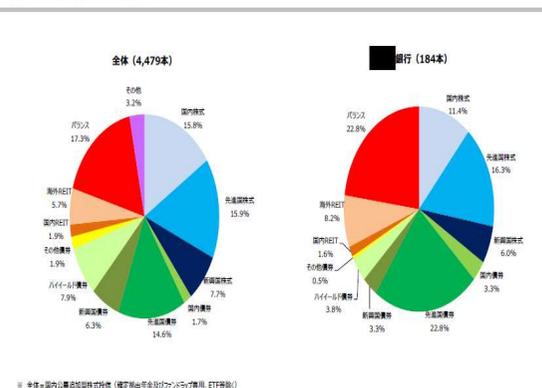
販売金融機関の「ファンドラップ提案」をサポートする ファンド評価およびアドバイスツールの提供

販売金融機関向け ファンドラインナップ分析

ポートフォリオ提案のための ロボ・アドバイザーツールの開発

<実績例>

1-① カテゴリー別本数



おすすめファンド

名前	ファンド名	トータルリターン	リスク	シャープレシオ	信託報酬	Morningstar 5つ星評価	投資比率(%)	金額(円)
バランス型	投資のソムリエ (Fund of the Year2020最優秀賞受賞)	2.22	2.22	1	1.54	★★★★★	80	800,000
国内株式型	魅力	47.38	18.44	2.57	1.595	★★★★★	10	100,000
国内株式型	ひふみワールド+	49.02	11.95	4.1	1.628	-	10	100,000
							合計	100 1,000,000

購入金額・手数料シミュレーション結果

ファンド名	コース	投資比率	年率収益率	年率手数料率	手数料負担率	元金(円)	約10年後	約20年後	最終金額(円)
投資のソムリエ	分配金受取	80%	800,000	800,000	17,220	696,238	782,780	800,000	800,000
MHAM 新興成長株オープン(関東・J-IPコンテンツ)	分配金受取	10%	100,000	100,000	3,192	44,166	96,807	99,999	99,999
ひふみワールド+	分配金受取	10%	100,000	100,000	3,192	68,429	96,807	99,999	99,999
計算金額合計							999,998 円		
お預け手数料合計									1,000,000 円

SBI新生銀行 ファンドラップXロボ・アドバイザー

SBIラップ X

投資に対するお考え等にお答えいただき最適な運用スタイルを診断します。

今すぐはじめる

運用スタイル	期待リターン(過去10年)	期待リスク	評価
安定運用	期待リターン: 5.5% 期待リスク: 112.0%		評価
成長運用	期待リターン: 6.5% 期待リスク: 113.0%		評価
バランス運用	期待リターン: 7.5% 期待リスク: 114.0%		評価
積極運用	期待リターン: 8.5% 期待リスク: 115.0%		評価
チャレンジ運用	期待リターン: 11.5% 期待リスク: 116.0%		評価

関西みらい銀行 みらいアドバイザーズ

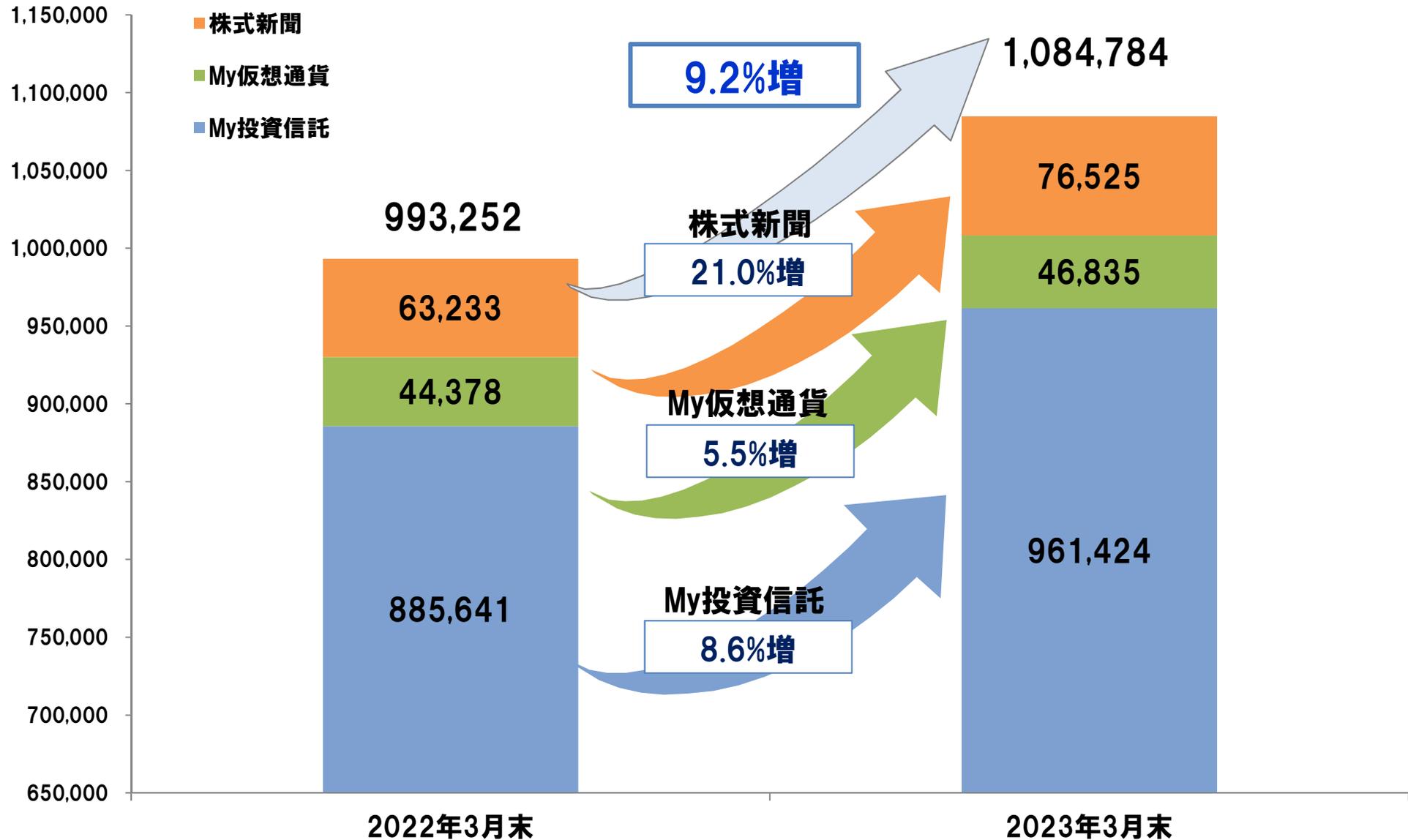
みらいアドバイザーズ

- 投資のソムリエ
- リバランス
- 債券資産分析
- ポートフォリオ作成

100万人超のユーザーがアクティブに活用する当社アプリ

「My投資信託」「My仮想通貨」「株式新聞」アプリのユーザー数は引き続き拡大

(単位:DL)



アプリに「生成AI」を搭載し、 投資教育・投資アドバイスの提供を行う

資産運用のハードルを下げ、「投資文化をかえる」アプリの開発へ

株式新聞



My投資信託



My仮想通貨



個々のユーザーが最適な資産運用を可能にするアプリを提供

「新しいNISA」に向け、全国各地で資産運用セミナーを開催

2023年10月14日(土)東京ミッドタウン
SBI証券×ウェルスアドバイザー：投信EXPO2023



<自社開催>

- ・2023年12月10日(日)東京国際フォーラム
ウェルスアドバイザー新NISA開始直前イベント
- ・2024年1月20日(土)東京ミッドタウン
ウェルスアドバイザー新春カンファレンス2024

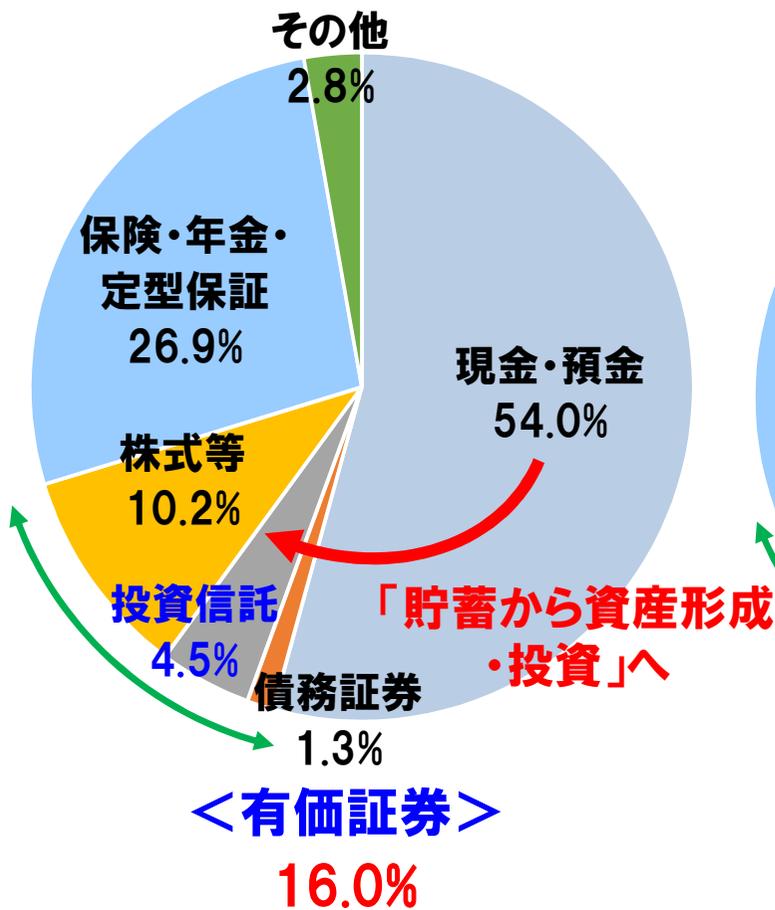
<金融機関と共催の開催>

- ・2023年 9月30日(土) 地方銀行(北関東)
- ・2023年11月11日(土) 地方銀行(近畿)
- ・2023年11月18日(土) メガバンク(東京)

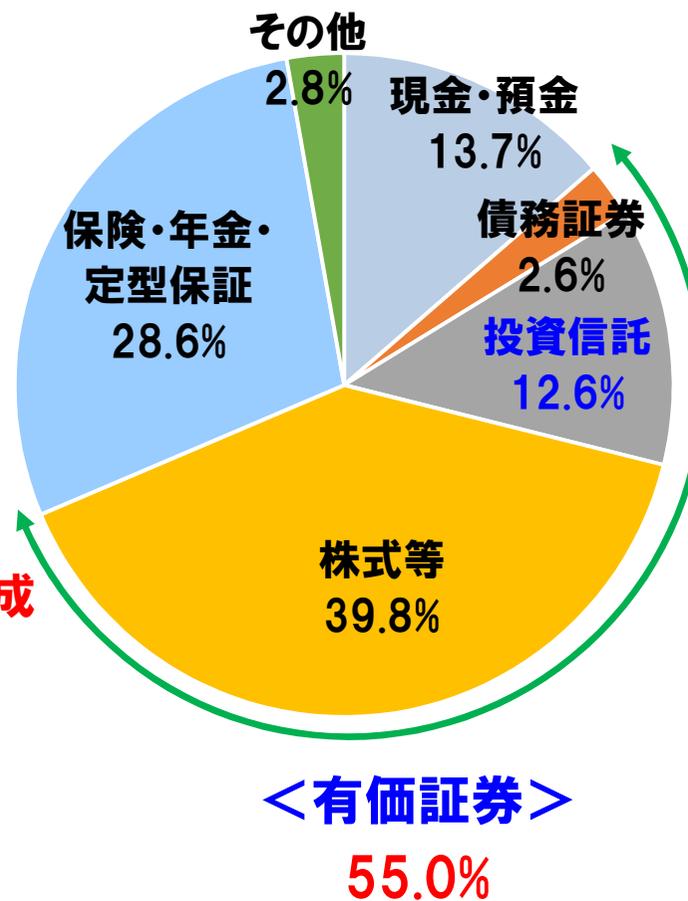
**「新しいNISA」の施行で加速する
「貯蓄から資産形成」において、
最も成長性の高い企業となる！**

日本でも「貯蓄から投資」は加速する

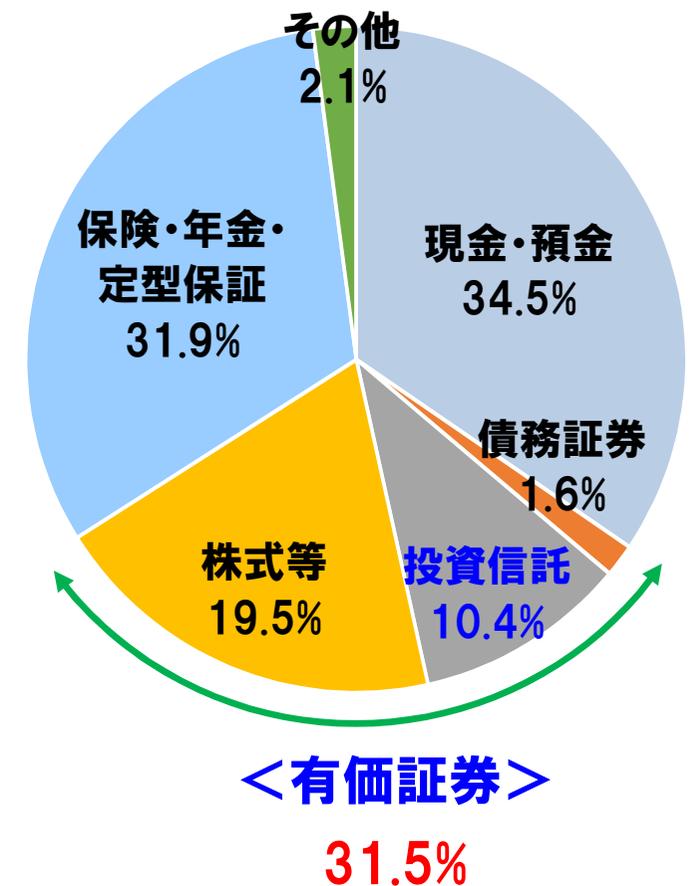
日本
2,005兆円



米国
115.5兆ドル



ユーロ
28.6兆ユーロ



※ データは2022年3月末データ
出所: 日本銀行調査統計局「資金循環の日米欧比較」

2024年1月施行の「新しいNISA」を契機に投資が拡大する

「つみたて投資枠」と「成長投資枠」は併用可能(年間最大360万円投資可能)

<現在のNISA>	つみたてNISA	一般NISA
非課税の投資額	年間40万円	年間120万円
非課税の保有限度額	800万円	600万円

<新しいNISA>	つみたて投資枠	成長投資枠
非課税の投資額	年間120万円	年間240万円
非課税の保有限度額	合計360万円(年) <u>1,800万円</u>	
投資対象商品	積立投資に適した 一定の投資信託 (現行のつみたてNISA対象 商品と同様)	投資信託は、 信託期間20年未満、 高レバレッジ型、 毎月分配型を除外

「新しいNISA」で伸びる市場規模

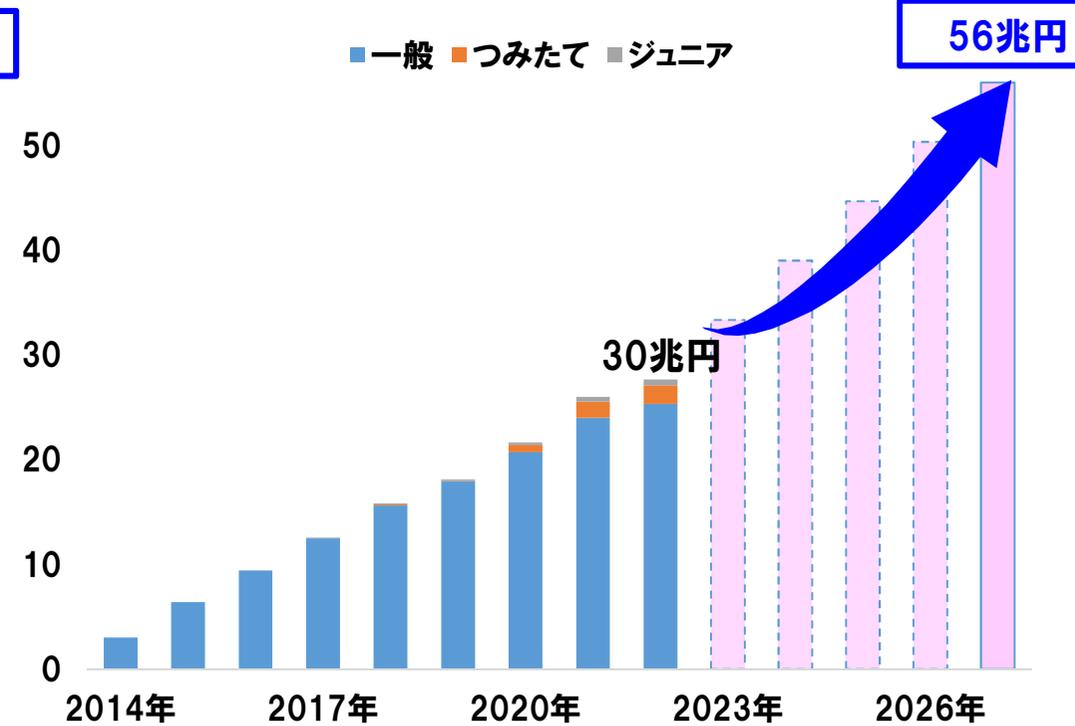
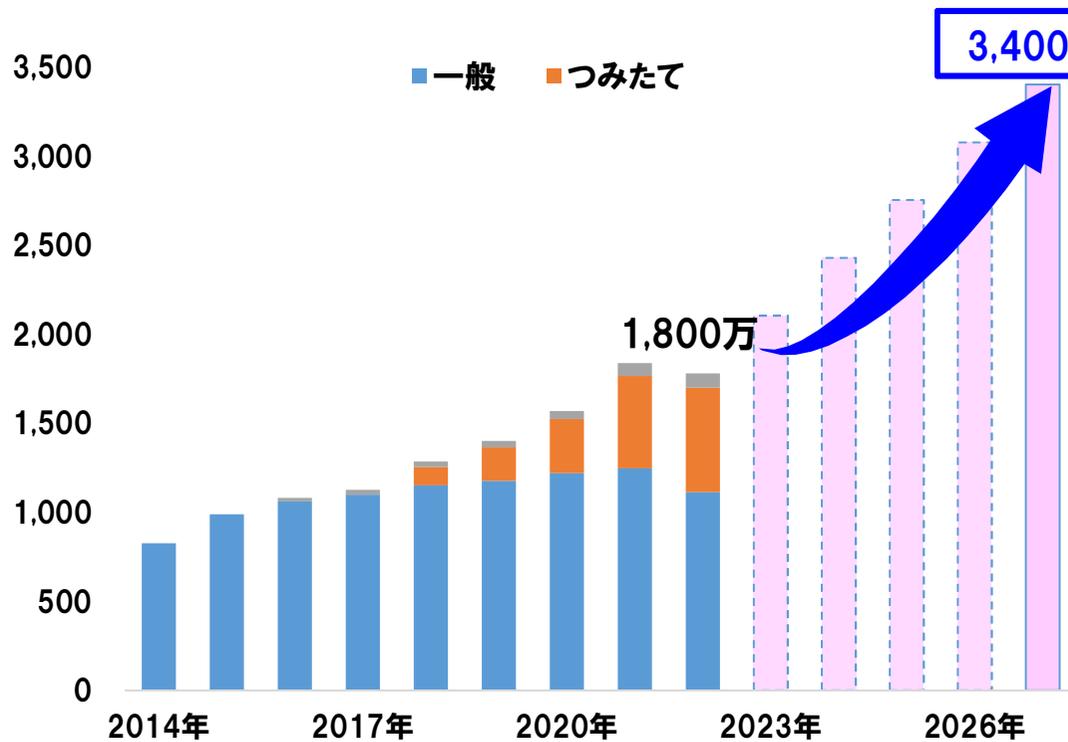
資産所得倍増プランと新しいNISAの導入(2024年)

<NISA口座数推移>

<NISA買付額推移>

(単位:万口座)

(単位:兆円)



※ 金融庁「新しいNISA制度」が国民の資産形成を強力に後押し』金融財政事情掲載より

米・欧・日の私的年金の状況

<米国>

	利用者数<人口比>	残高
401k	110百万人 <33%> (2020年末)	6.6兆ドル <965兆円> (2022年末)
IRA	50.7百万人 <15%> (2020年末)	9.7兆ドル <1,431兆円> (2022年末)

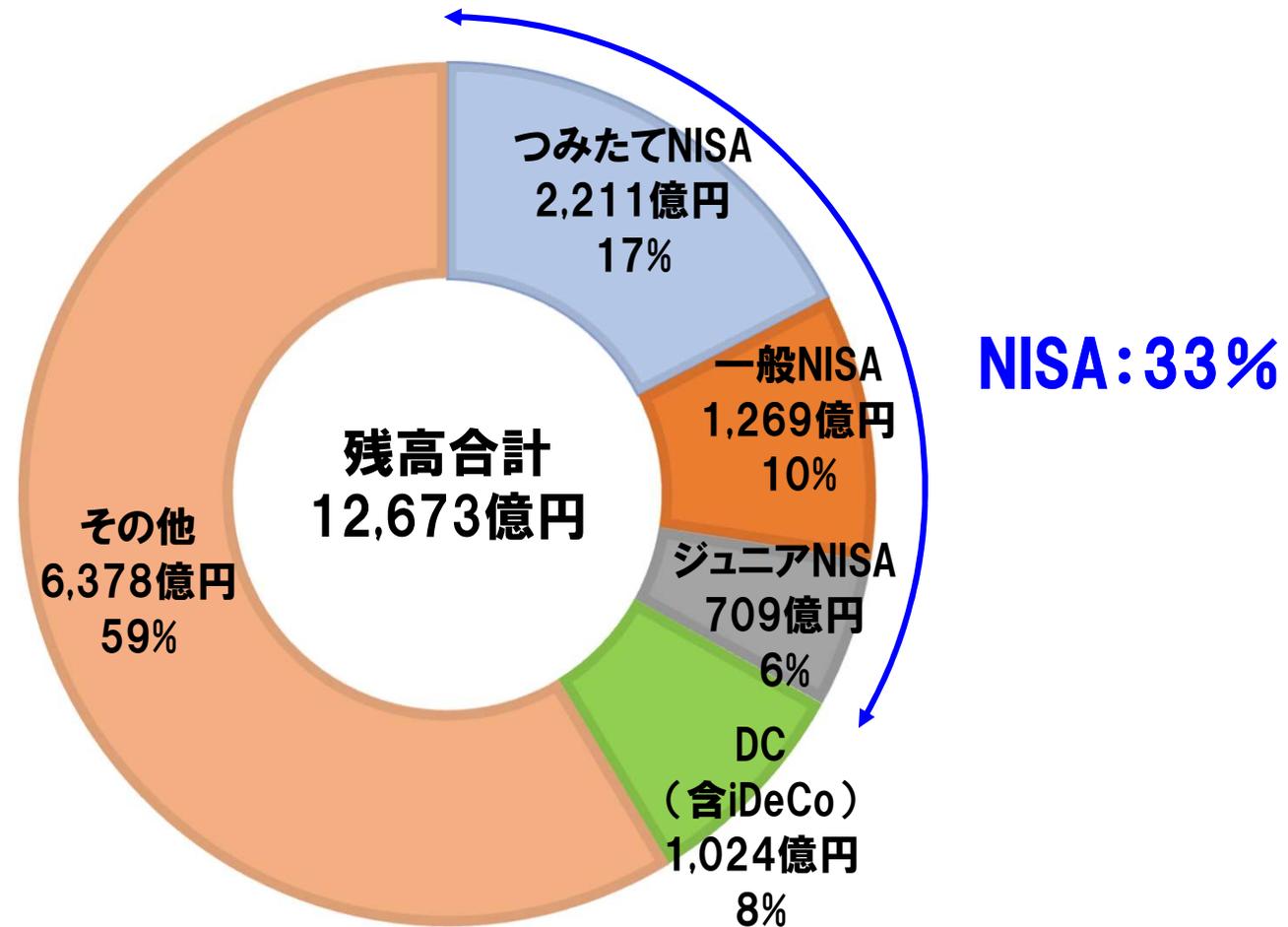
<英国>

	利用者数<人口比>	残高
DC	1,380万人 <23%> (2022年推計)	5,450億ポンド <72.7兆円> (2022年末)
ISA	2,716万人 <45%> (2020課税年度)	預金型:2,875億ポンド <42.0兆円> 株式型:3,987億ポンド <58.2兆円> (2021年4月5日)

<日本>

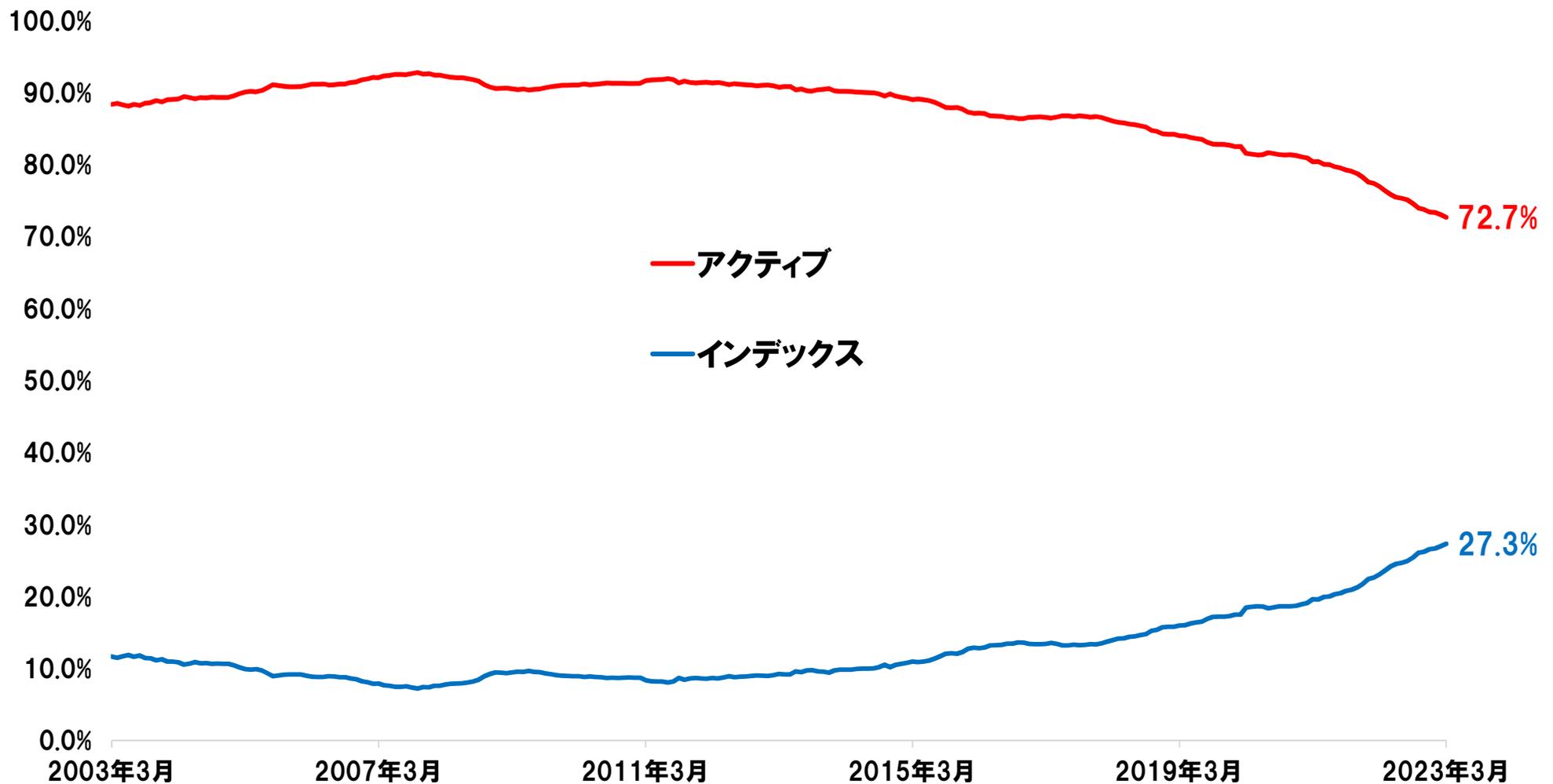
	利用者数<人口比>	残高
DC	782万人 <6%> (2022年3月末)	17.8兆円 (2022年3月末)
iDeCo	239万人 <2%> (2022年3月末)	3.7兆円 (2022年3月末)
一般NISA	1,079万人 <9%> (2022年12月末)	27.9兆円 (2022年12月末)
つみたてNISA	725万人 <6%> (2022年12月末)	2.8兆円 (2022年12月末)
ジュニアNISA	97万人 <0.8%> (2022年12月末)	8,118億円 (2022年12月末)

SBIアセットのインデックスファンドの購入経路



国内籍ファンドのアクティブ・インデックスの比率

全体に占めるインデックスファンドの構成比は上昇を続ける



※ 国内籍ファンド＝国内公募追加型株式投信(ETF除く)、アクティブ・インデックス＝投信協会基準
 ※ 期間：2003年3月～2023年3月(月次)

公募投信のインデックスとアクティブの商品戦略

既存インデックスファンドの残高拡大
+
新規インデックスファンドの設定による商品拡充
+
アクティブファンドの選択と集中

投資家の資産形成に資する商品

商品性・適合性のモニタリングと改善

情報提供・情報開示の強化

✓ マーケットシェアの拡大
✓ 新NISA口座の獲得
✓ 選択と集中で残る
良質なアクティブファンドの訴求

顧客中心主義の Produkt・ガバナンスの強化

投資家の資産形成に資する商品提供

長期・積立・分散投資に活用できるインデックスファンドの提供

- ✓ 同種同等ファンドの総経費率において業界最低水準を目指したインデックスファンドの拡充

情報提供・ 情報開示の強化

- 手数料、信託報酬などの投資コストの
明確な開示(隠れコストの排除)
⇒ 総経費率開示の2023年8月開始

*投資信託協会が定める
2024年4月21日からの規則改正を
前倒して開始。

商品性・適合性の モニタリングと改善

- アクティブファンドの選択と集中
 - ✓ 長期的なパフォーマンス、コスト、
純資産残高等の基準を含む内部規定に則り、
繰り上げ償還の検討および推進 ⇒
アクティブファンドの57ファンドについて、
3年以内に削減(約半数となる)。

世界の運用会社トップとの共同運用による商品提供

<世界の運用会社の運用残高ランキング>

	運用会社・グループ名 (一部略称)	国籍	億ドル
1	ブラックロック	米国	100,101
2	バンガード	米国	84,664
3	フィデリティ	米国	42,338
4	ステート・ストリート	米国	41,382
5	JPモルガン	米国	31,130
6	アリアンツ(含むピムコ)	ドイツ	29,544
7	キャピタル	米国	27,152
8	ゴールドマンサックス	米国	24,700
9	BNYメロン	米国	24,343
10	アムンディ	フランス	23,325

・
・
・

54	野村アセット	日本	5,682
57	アセマネOne	日本	5,121



PIMCO

SBIアセットの
公募・私募ファンド

<i シェアーズ>

<V・シリーズ>

<雪だるま>

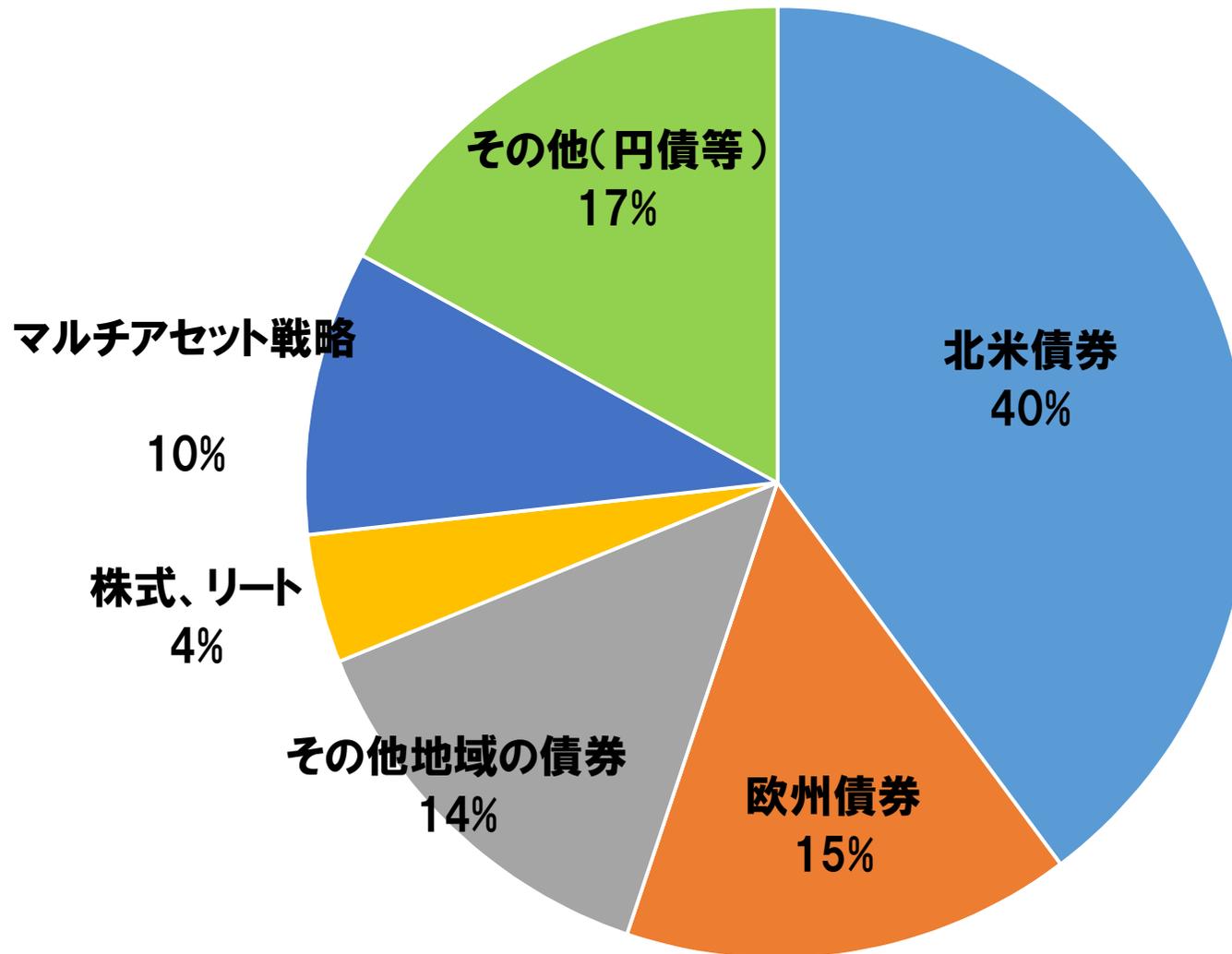
<債券運用>

業界最低水準コストのインデックスファンド

SBIアセットのインデックスファンド		信託報酬
米国株式	SBI・V・全米株式インデックス・ファンド	0.0938%
	SBI・V・S&P500インデックス・ファンド	0.0938%
	SBI・V・米国小型株式インデックス・ファンド	0.1138%
	SBI・V・米国高配当株式インデックス・ファンド	0.1238%
	SBI・V・米国増配株式インデックス・ファンド	0.1238%
先進国株式	SBI・先進国株式インデックス・ファンド『愛称:雪だるま(先進国株式)』	0.1022%
	SBI・V・先進国株式(除く米国)インデックス・ファンド	0.1138%
日本株式	SBI・iシェアーズ日経225インデックスファンド	0.1133%
	SBI・iシェアーズTOPIXインデックスファンド	0.1133%
新興国株式	SBI・V・新興国株式インデックス・ファンド	0.1438%
	SBI・新興国株式インデックス・ファンド『愛称:雪だるま(新興国株式)』	0.1760%
	SBI・中国A株インデックス・ファンド『愛称:雪だるま(中国A株)』	0.4138%
世界株式	SBI・V・全世界株式インデックス・ファンド	0.1338%
	SBI・全世界株式インデックス・ファンド『愛称:雪だるま(全世界株式)』	0.1102%
	SBI・V・世界小型株式(除く米国)インデックス・ファンド	0.1338%
米国債券	SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・ファンド	0.0938%
	SBI・iシェアーズ・米国投資適格社債(1-5年)インデックス・ファンド	0.1038%
	SBI・iシェアーズ・米国短期国債ファンド	0.1138%
	SBI・iシェアーズ・米国ハイイールド債券インデックス・ファンド	0.2138%
金	SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド(為替ヘッジあり)(為替ヘッジなし)	0.1838%

機関投資家の幅広い運用ニーズへの対応

SBIアセット受託の私募ファンドの資産構成比（2023年5月末）



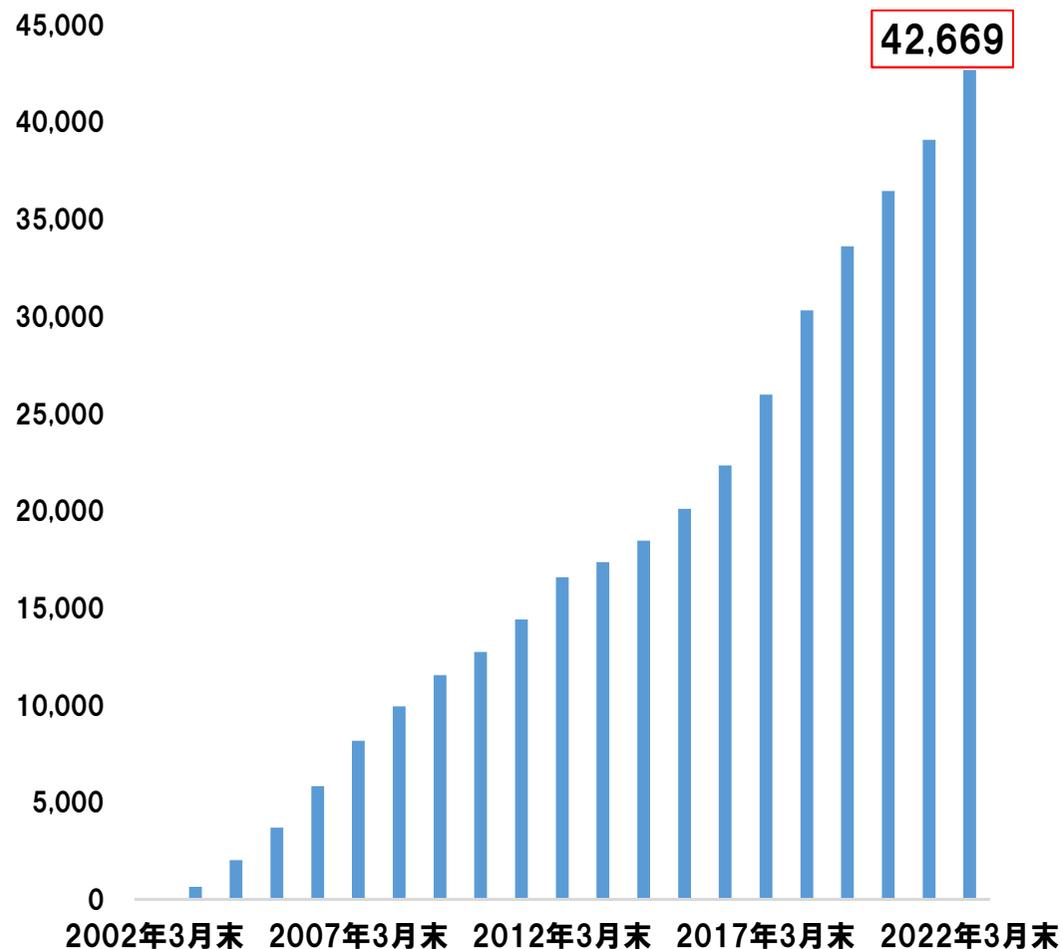
事業法人・金融法人へのアプローチによる顧客層の拡大



DC (企業型確定拠出年金) 採用事業社数と加入者数の推移

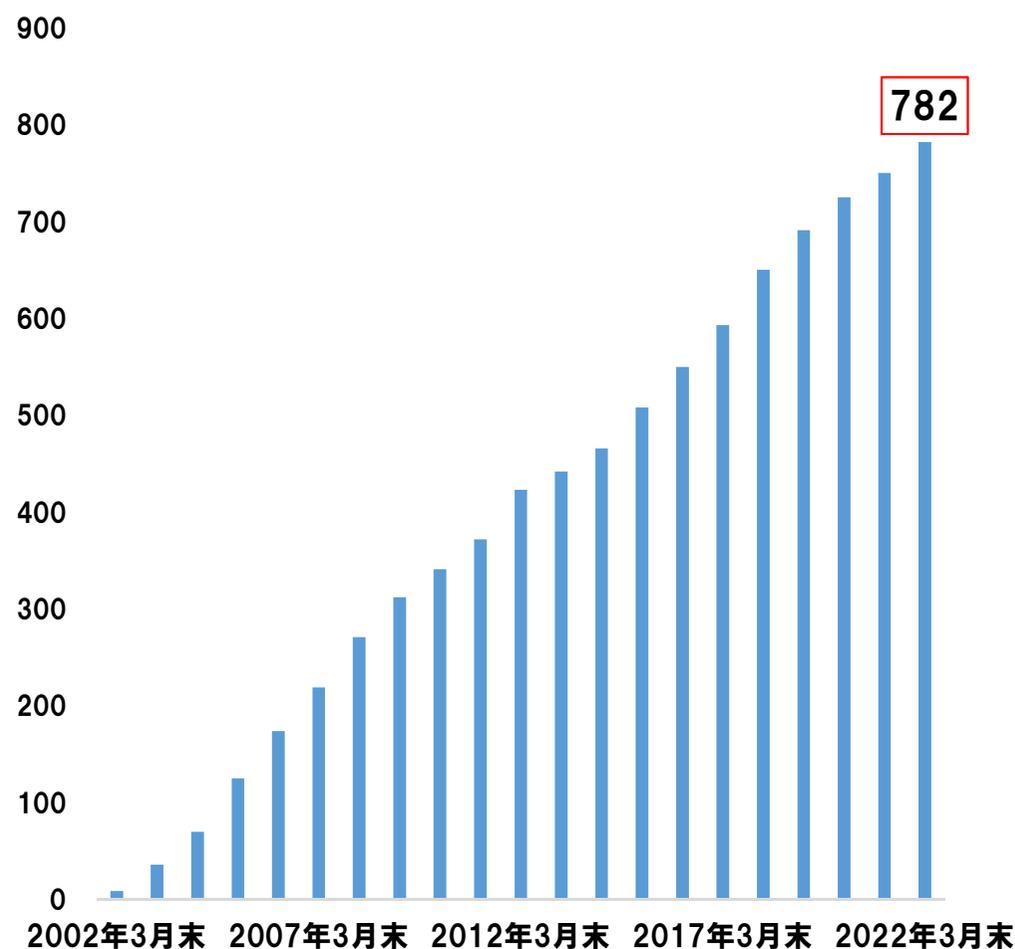
<企業型確定拠出年金の採用事業社数>

(単位:社数)



<企業型確定拠出年金の加入者数>

(単位:万人)



iDeCo (個人型確定拠出年金) の加入者数は大幅に拡大

(加入者数:人)

2,500,000

2,000,000

1,500,000

1,000,000

500,000

0

2,393,388

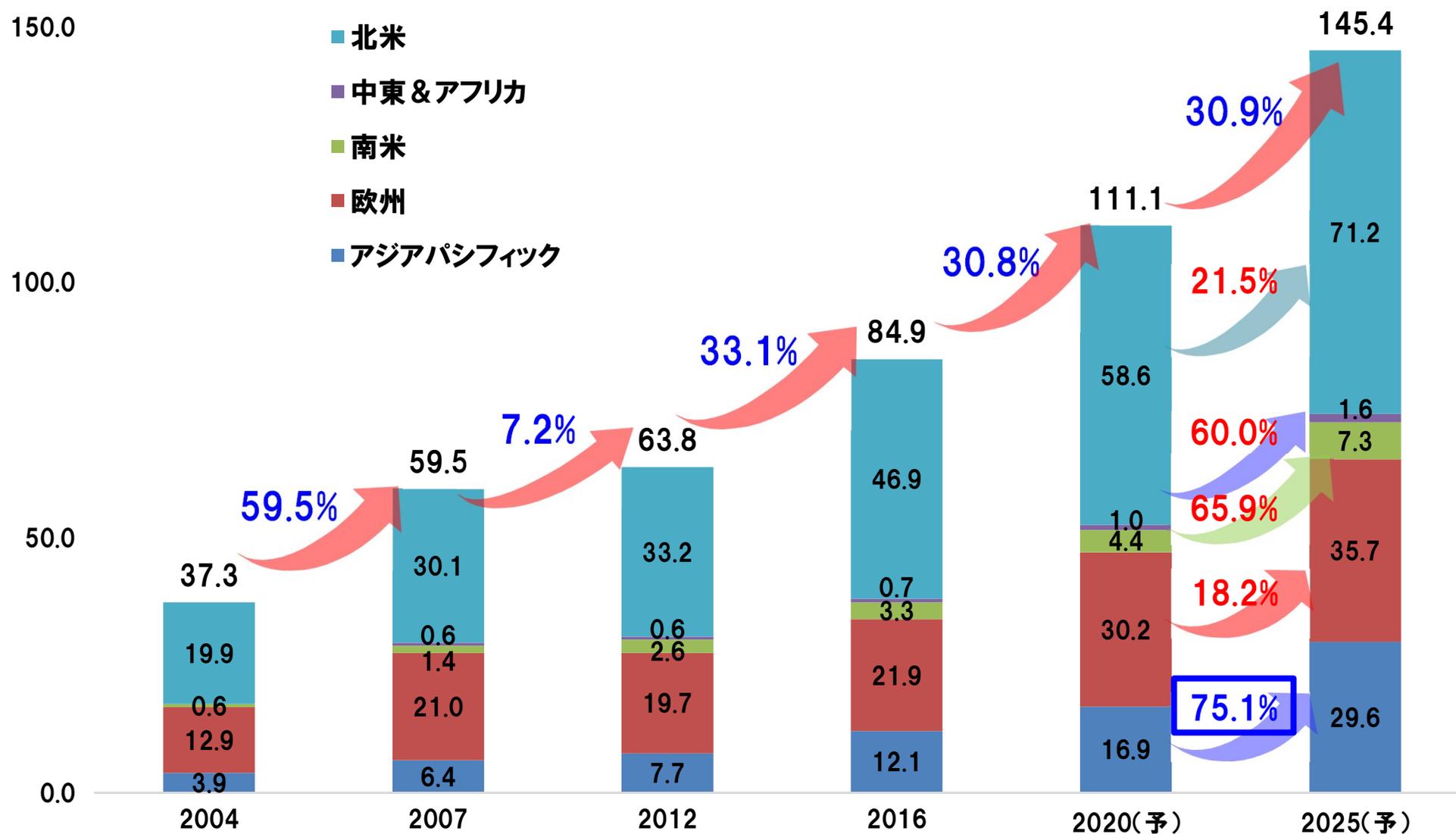
2012年3月末 2013年3月末 2014年3月末 2015年3月末 2016年3月末 2017年3月末 2018年3月末 2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末 2022年3月末

出所: 運営管理機関連絡協議会「確定拠出年金統計資料」(2022年3月末)

世界の資産運用残高の推移

アジアパシフィック市場が大きな成長が見込める

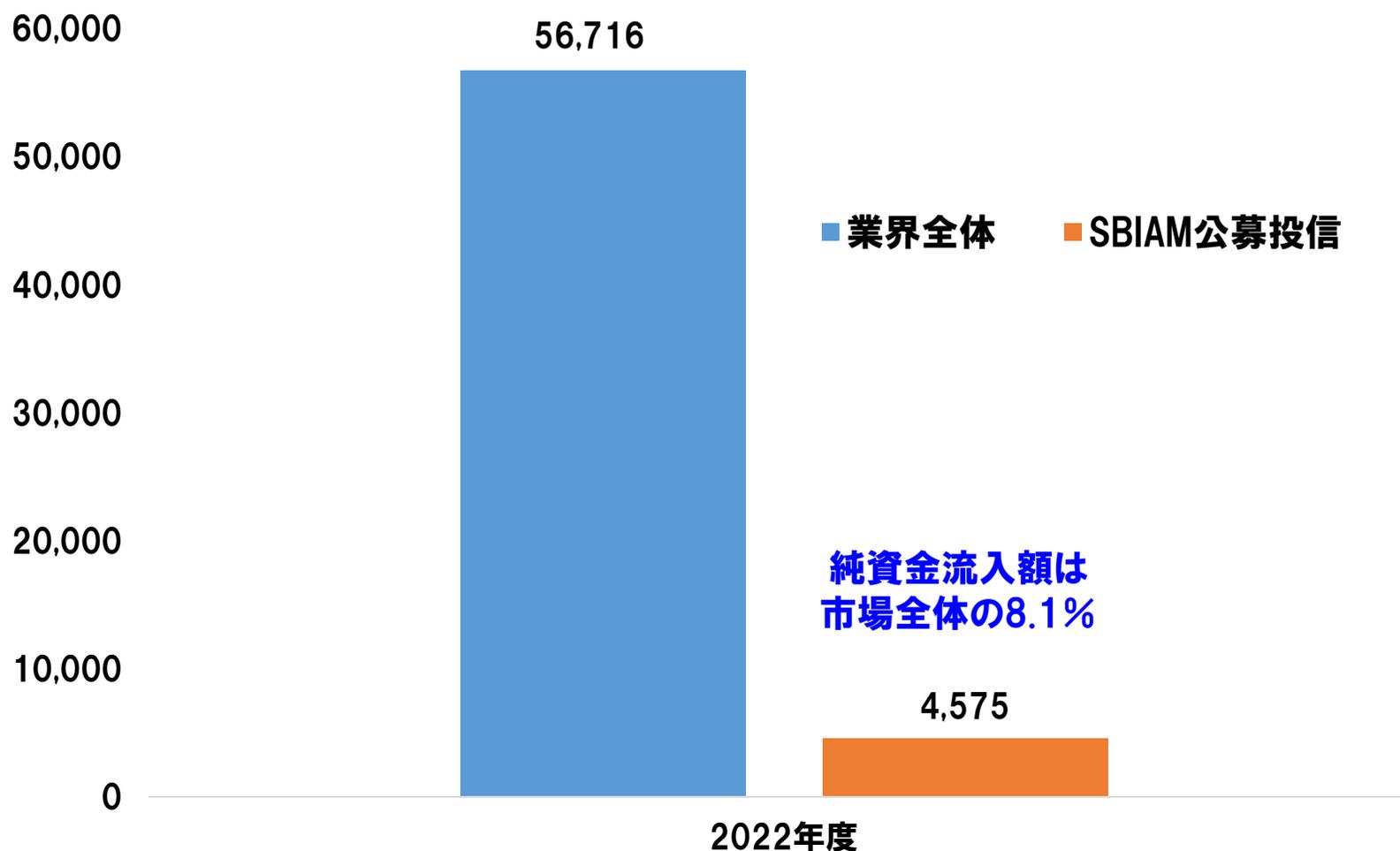
(単位:兆ドル)



公募投信業界全体とSBIアセットの公募資金純流入額

公募投信全体の純資金流入額の約10%(1割)の獲得を目指す

(単位:億円)



※ 期間:2022年4月~2023年3月(年次)
 公募投信(追加型除くETF)業界全体の数値は分配金控除後。
 出所:一般社団法人投資信託協会

当社グループの運用残高は、 3年後に10兆円突破、5年後に20兆円を目指す

